

事務事業名		勤労青少年ホーム運営事業		会計		一般会計		実施区分			
H28担当課等名		公民館		H28係等名		管理係		H27係等名		管理係	
基本計画上の位置づけ		政策 2		地育力によるこころ豊かな人づくり		施策 28		学習交流活動の推進		開始 終了	
目的	対象(誰・何を)	勤労青少年ホーム利用対象者						指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	・勤労青少年等を対象にした学習活動や余暇利用活動を支援し、次代を担う若者の定住を促進する。						対象指標		18歳～40歳迄の男女の人口(人)	24470
	向上させたい上位施策の成果指標	学習活動を行っている市民の割合						対象指標		青少年ホーム利用登録者数(人)	102
目標	種別	指標名及び単位				27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	勤労青少年ホーム利用者数(人)				5000	5890	6000	-		
	定性目標										
事業概要	<p>勤労青少年ホームは、地域の将来を担う若者が余暇や休日を利用した活動を通じて友情を深め、知性を磨き、よき社会人、地域のよき担い手として成長を図る場であり、サークル活動、教養講座、利用者会活動を三本柱に据え、運営していく。 25年度に行った勤労青少年意識調査の結果を踏まえ、各種講座の中で資格取得に結び付けるような講座を重点実施していく。体育協会と連携しながらコーディネーショントレーニング等のスポーツ関連事業の展開を推進する。</p> <p>1 教養講座の開設 2 ニート対策事業の運営 3 シニアを対象とした昼間の講座の開設</p>										
27年度事業内容	事業内容					名称			活動指標		
	1 前・後期教養講座の開設					1 登録者数 前・後期教養講座 (1)講座数 (2)延べ受講者数			1 243人 (1)22講座 (2)1,046人		
	2 グループ活動の育成 3 ニート対策事業の実施					2 クラブ・サークル数 3 家族の学習会 特別学習会			2 6団体 3 3回 36人 3回 29人		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		7,453	7,554	6,409	7,131	(そ) 青少年ホーム講座受講者負担金					
国庫支出金											
県支出金		250									
起債											
その他		319	225	272	225						
一般財源		6,884	7,329	6,137	6,906						
人件費計(千円)②		0		0							
正規職員所要時間		0									
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		7,453	7,554	6,409	7,131						
事業内容・目標達成状況の振り返り		ネットを利用した申込み、講座内容の再検討を行ったが、利用者数等が減少傾向にある。青少年層が人と人との出会いや関係づくりに消極的な傾向がみられることも要因となっている。									
改革改善の考え方	①問題点	施設利用者の減少									
	②改革提案	体育協会との合同事務所によりスポーツ面で青少年のニーズに沿った新規事業を開拓していくこと。ニート・引きこもりの青少年を対象とした若者の居場所づくりなどの新たな機能を付加した事業を展開していくこと。									